

講師 茂木喜久雄

経済学

第 1 問 寡占市場における企業の行動について説明しなさい。

(1) 寡占市場では、市場で需要、あるいは費用が変化しても、「管理価格」的な価格の硬直性が見られる。

この議論を屈折需要曲線を用いて説明しなさい。

(2) 結託していない 2 つの企業からなる寡占市場において、各企業は、自らの利潤を高めようとして、「価格の引き上げ」と「価格の現行維持」とのどちらかの戦略をとる。この場合、企業 A,B はどのように行動すると「ナッシュ均衡」、または「囚人のジレンマ」が成立するか言及しなさい。

第 2 問

国債発行に関し設問に答えなさい。

(1) 国債購入者を個人、商業銀行、中央銀行に分け、各々の場合における経済効果について説明せよ。

(2) 発行される国債を長期国債と短期国債に分類した場合

1). 不況対策、経済安定化を目標にした場合

2). 国の利払い費用の低減を目標にした場合

上記 1)、2) のそれぞれの目標を達成しようとした場合、長期国債、短期国債をどのように組み合わせて発行するのが望ましいか述べなさい。